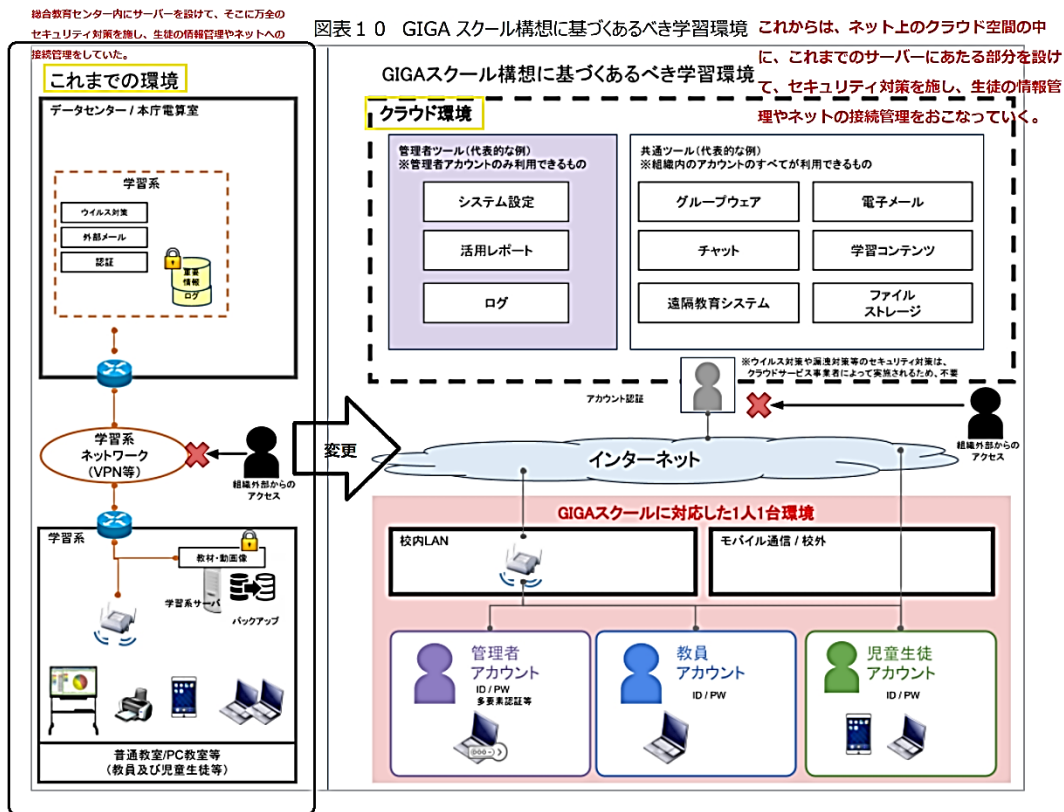


## 【「これまでの環境」と「これからの環境」への変更点】



### コラム

#### クラウドは「組織内部」

GIGA スクール構想において、学習系のシステムはクラウド利用を前提としています。  
 第三者機関による認証 (ISO/IEC27017,27018) 等に基づき、適切にセキュリティ基準を満たしていると判断の上で教育委員会・学校が構築・管理・採用している環境は、クラウドの利用を含め「組織内部」と整理できるため、クラウドへのアップロードは「組織外部への情報資産持ち出し」や「情報の外部送信」にあたりません (本ガイドライン (令和4年3月) 図表 6「情報資産の取扱例」注釈を参照)。  
 すなわち、子供たちが作成した学習の記録をクラウドにアップロードしたり、クラウド上で教師と児童生徒及び児童生徒間のコミュニケーションを行うことが規定上も可能になっています。積極的に環境を活用していきましょう。

### 「これまでの環境」

総合教育センター内にサーバーを設け、そこに万全のセキュリティ対策を施し、生徒の情報管理などを行っていた。

### 「これからの環境」

(取り扱う情報の量がかなり大きくなり許容範囲を超えてきたので) ネット上のクラウド空間の中に、これまでのサーバーにあたる部分を設けて、これまで同様にセキュリティ対策を施し、生徒の情報管理などを行っている。※上記にあるように、「クラウドは“組織内部”として扱われ」ています。

今回は、セキュリティのしっかりしたクラウド上に、生徒の各種の情報(要配慮個人情報を除く)保存して管理しても良いか?という事に関する同意書になります。